

財団法人 いばらき文化振興財団

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

代表者名	橋本 昌 (理事長)	所管部(局)課	生活環境部 生活文化課	
所在地	水戸市千波町後川745	電話番号	029-305-0161	
ホームページURL	http://www.icf4717.or.jp	E-mailアドレス	info@icf4717.or.jp	
資本金(基本財産)	30,000 千円	設立年月日	平成4年7月17日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	茨城県	30,000 千円	100.0 %
	2		千円	0.0 %
	3		千円	0.0 %
	4		千円	0.0 %
	5		千円	0.0 %
その他	団体		千円	0.0 %
設 立 的 目 的	<p>各種の文化振興事業を行うことにより個性豊かな県民文化の振興を図り、もって国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的として平成4年に設立された。</p> <p>平成11年からは、茨城県文化福祉事業団の文化部門を統合し、芸術文化に接する機会の提供、県民文化センターの管理運営及びアクアワールド茨城県大洗水族館の運営を行っている。</p>			

[事業の概要]

事業名	平成17年度事業費	内 容
事業1 文化振興事業	304,573 千円	個性豊かな県民文化の振興を図るため、芸術・文化活動への助成及び芸術・文化に接する機会の提供を行うため幅広いジャンルの公演事業を実施する。
事業2 県民文化センター事業	511,141 千円	県の芸術文化活動の振興の拠点である県民文化センターの運営、施設の維持管理及び使用料徴収事務を行うとともに、食事等の提供、駐車場の管理を行い、利用者への利便とサービスを図る。
事業3 大洗水族館事業	1,778,013 千円	「茨城の海と自然・世界の海と地球環境」を基本テーマに、観光レクリエーション施設、地域の文化と経済に貢献する施設、海を通じた環境教育現場としての生涯学習施設、自然保護と種の保存に関する実践・研究施設として、「展示」、「普及」、「研究」の3つの機能を相互に連動させた魅力ある海の総合ミュージアム施設として運営する。

[組織]

7月1日現在の人数	平成15年		平成16年		平成17年					
	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB				
役員	常勤理事	1	0	1	2	0	2	2	0	2
	非常勤理事	13	0	0	13	0	0	13	0	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	2	0	0	2	0	0	2	0	0
	計	16	0	1	17	0	2	17	0	2
職員	管理職	15	3	1	15	3	0	15	1	0
	一般職	71	2	0	68	2	0	68	2	0
	臨時職員	69	0	0	68	0	0	75	0	0
	嘱託職員	4	0	1	3	0	1	3	0	1
	計	159	5	2	154	5	1	161	3	1
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	16	19	22	26	83	41歳3月	18年4月			

[収支の状況]

財団法人 いばらき文化振興財団

(単位:千円)

区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
収 支 の 状 況	収入合計	3,965,979	2,871,667	2,727,141
	事業収入	3,692,590	2,642,975	2,478,832
	事業外収入	273,389	228,692	248,309
	支出合計	3,872,222	2,730,097	2,491,949
	事業支出	1,013,425	809,476	768,730
	事業外支出	2,858,797	1,920,621	1,723,219
	うち管理費	1,926,576	1,736,580	1,705,266
	うち人件費	773,998	723,982	717,620
	当期収支差額	93,757	141,570	235,192
	正味財産増加額	1,614,696	733,099	588,382
	正味財産減少額	722,764	568,396	567,909
	当期正味財産増減額	985,689	306,273	255,665
	前期繰越正味財産	499,679	1,485,368	1,791,641
	期末正味財産	1,485,368	1,791,641	2,047,306
財 産 の 状 況	資産	2,385,437	2,513,371	2,842,096
	流動資産	681,392	673,776	992,032
	固定資産	1,704,045	1,839,595	1,850,064
	負債	900,068	721,729	794,790
	流動負債	371,474	228,254	300,044
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	528,594	493,475	494,746
	うち長期借入金	0	0	0
	正味財産	1,485,369	1,791,642	2,047,306

[財的関与の状況]

(単位:千円)

(単位:千円)

区 分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	
財 的 関 与 状 況	補助金	137,948	101,262	101,595
	委託金	440,650	403,392	394,586
	貸付金			
	計	578,598	504,654	496,181
	財政的関与の割合(%)	15%	18%	18%
	損失補償・債務保証			

[平成16年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	いばらき文化振興財団事務局では、理事会・評議員会の開催をはじめ、財団の事業計画及び収支予算の策定や事業所(県民文化センター、大洗水族館)への進行管理及び事業推進の指導にあたるほか、芸術文化活動への助成など県民サービスに努めている。
委託金	県民文化センターの運営及び施設の維持管理、使用料徴収事務を行い県民サービスに努めた結果650,253人の施設利用者を迎えた。 また、アクアワールド大洗では茨城県自然博物館水系展示水槽管理業務を受託し、「サイエンスデー・海の日」に館内レクチャーを行ったほか、「磯の生物タッチングコーナー」等を実施し好評を博した。
貸付金	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	5	14	14	100.0%
組織運営の適正性	4	8	8	100.0%
健全性	11	20	40	50.0%
効率性	10	-10	36	-27.8%
合計	34	40	106	37.7%

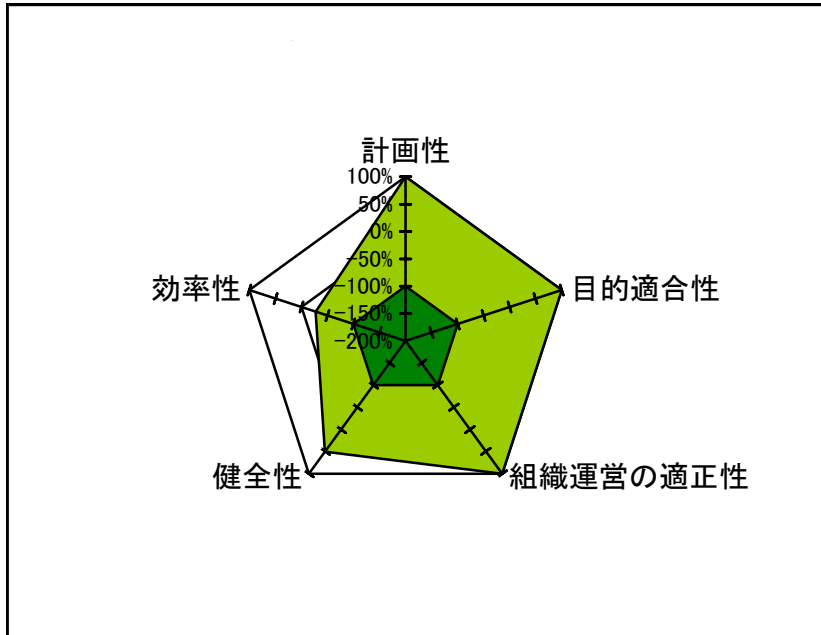
警戒指標

--

《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照



[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
<p>中期経営計画(平成14年度から平成18年度)を策定し、事業別に目標を掲げ運営にあたっており、概ね計画どおりに推移している。</p>	<p>個性豊かな県民文化の振興を図り国際性豊かな文化の県づくりに寄与するため文化振興事業、文化センター、水族館等を運営しているが、施設及び事業の入場者による事業効果・目標達成度から目的に適合している。</p>	<p>職員の意欲を喚起する方策として、職員の意見・提案を随時取り入れ、効率的な施設運営の検討材料とするなど、職員が経営へ参画できる体制をとっているほか、事務局・事業所間の連絡・調整を密にし、効率的な施設運営に努めている。</p>	<p>受託事業の再委託度がアップしたため、昨年度に対して評点が下がっている。 これは、県委託金を節減するため、人員の削減に取り組み、積極的に外部委託を推進した結果である。</p>	<p>「人件費比率」、「職員1人当たりの事業収入」の評点がマイナスとなっている。 これは、大洗水族館が開館3年目となり、オープン効果のあった1年目に対して事業収入が減少したことによるものである。しかし、16年度の計画目標は達成しており、当期正味財産増加額も3期連続で黒字であることから、運営上は問題無い。今後、継続して安定した経営を維持するために、広報宣伝の拡充を図るとともにリピーターの増加に努め、事業収入の確保を図っていく。</p>
<p>今後の事業展開の方向</p>	<p>財団が行う文化振興事業を安定的、継続的に実施していくためには、その基盤となる資金の確保に努める必要がある。芸術文化に接する機会を提供という観点から実施する公演事業や利用者の利便を図るため実施する県民文化センター自主事業については、収支均衡を保つよう運営を行う。また、大洗水族館については、展示内容や普及事業、研究事業の充実を図るとともに、入場者を確保するため、効果的なPRを実施し潜在客の発掘及びリピーターの確保を図っていくものとする。</p>			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
適切である。	適切である。	適切である。	県委託金削減の観点から積極的に外部委託を行い、事業運営の効率性の向上に取り組んでいる。	効率性が低下した要因は、財団事業費の7割を占める大洗水族館において、当初、計画目標を大幅に上回る入場者があったが、開館3年目となり、オープン効果が薄れ、入場者が減少したためである。しかし、計画目標入場者を確保し、3期連続黒字となっていることから、管理運営上は問題はない。
	推進事項		取組み状況	
第三次行財政改革大綱に係る取組状況				
法人担当課の意見	<ul style="list-style-type: none"> 水族館については、企画展や水族館での結婚式等の開催などの話題づくり、旅行会社とタイアップした誘客対策を推進するとともに、入場者400万人を記念した割引券の発行による潜在客の発掘、平成16年9月から年間パスポートを導入してのリピーターの確保などに取り組む、開館効果が薄れる中、引き続き100万人を超える入場者(全国第6位)を確保した。また、「自然教室」の内容の見直しを行い、新たなテーマに取り組むなど普及事業の充実に取り組んでいる。 県民文化センターについては、施設の空き状況をホームページに掲載し、利用者の利便性と利用率の向上に努めるなど、他の北関東県の文化ホールと比べ高い稼働率を引き続き維持するとともに、県の歳入となる施設使用料の増加や県委託料の削減など効率的な運営に取り組んでいる。また、自主事業であるレストランについては、利用者からの要望を踏まえ、公演終了後の余韻を楽しむ場として、公演開催時に特別に営業時間を延長するなど、利用者の視点に立った臨機応変な運営を行っている。 文化振興事業については、県内では開催が難しい歌舞伎などの伝統芸能やオペラをはじめ、質の高い幅広いジャンルの公演を低料金で開催し、県民に芸術文化に接する機会の提供を行っている。 <p>以上のように、財団の役職員が常に県の芸術文化の振興の一翼を担うという視点に立ち、併せて経営的感覚を持ちながら事業運営にあたっている。</p>			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
総合的所見等	概ね良好		改善の余地がある	緊急の改善措置が必要	
	<p>大洗水族館については、全国的にも評価されており、魅力的な企画展を開催するなど積極的な事業展開をしている。しかしながら入館者数は減少傾向にあり、今後はますますオープン効果が薄れることから、より魅力のある企画の実施に注力されたい。なお、施設の整備等については、県と財団の経費負担区分が不明確なことから、適切に定める必要がある。</p> <p>県民文化センターについては、指定管理者制度が導入される施設であるが、更なる高い企画力と実行力を発揮することが求められるとともにコストパフォーマンスの向上を図る必要がある。</p>				

<p>総合的所見等 に係る対応</p>	<p>大洗水族館の入館者は、オープニング効果が薄れ減少傾向にあるが、水族館としては、健全経営を図るため年間パスポートの導入やファミリー向けのイベントの開催、イルカショーや企画展の充実などを図るとともに、首都圏をターゲットとした誘客促進対策に努め、入館者の確保に取り組んでおり、平成17年度は減少傾向に歯止めがかかっている。</p> <p>水族館に関する経費負担区分の取り決めにあたっては、入館者の推移を見極める必要があり、施設整備及び維持修繕の経費負担区分については既に取り決めているが、展示関係のリニューアル経費の負担区分については、今年度の入館状況を踏まえながら、財団と協議していく。</p> <p>県民文化センターについては、指定管理者制度の導入の趣旨に則り、県の文化振興の拠点施設としての機能の充実や更なる利用者サービスの向上、経費の節減が図られるよう指導していく。</p>
-------------------------	---

< 財団法人 いばらき文化振興財団 から県民のみなさまへ >

いばらき文化振興財団は、各種の文化振興事業を行うことにより、個性豊かな県民文化の振興を図り、国際性豊かな文化の県づくりに寄与することを目的に平成4年に設立されました。

芸術文化に接する機会の提供として多種多様な舞台芸術公演を行うほか、文化活動団体等の支援、県民の文化活動の拠点施設としての「県民文化センター」の管理運営、茨城の海と自然・世界の海と地球環境を基本テーマとした「アクアワールド・大洗」の運営を行い、県民から親しまれる施設をめざして運営にあたっております。

アクアワールド・大洗につきましては、平成14年3月の開館以来、約3年で400万人の入場者を迎え、17年度で開館4年目に入りますので、今後は、展示内容を一部リニューアルするなど、より一層お客様に楽しんでいただけますよう、「見て、触れて、遊びながら楽しく学べる」展示の充実努めるほか、お客様が安心して楽しめる施設の環境づくりに努めてまいります。

県民文化センターにつきましては、平成18年度から指定管理者制度の対象施設として運営されますので、お客様の要望を取り入れながらより一層のサービス向上に努めてまいります。

今後とも、お客様に楽しんでいただける施設の運営と事業展開に努めてまいりますので、職員一同皆様のお越しを心からお待ちしております。

平成18年2月 理事長 橋本 昌